

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2024/10/17

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	33.22	-0.10
JPY/THB	0.2220	-0.0013
USD/JPY	149.64	0.44
EUR/THB	36.09	-0.20
EUR/USD	1.0862	-0.0031
USD/CNH	7.137	0.001
SGD/THB	25.29	-0.15
AUD/THB	22.15	-0.19
USD/INR	84.00	-0.04
USD Index	103.59	0.33

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.183	-0.077
10Y (THB)	2.434	-0.080
5Y (USD)	3.844	-0.010
10Y (USD)	4.012	-0.019

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,674.0	12.6
WTI (Oil)	70.39	-0.19
Copper	9,558.5	28.0

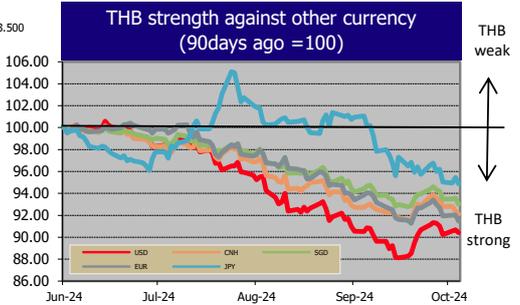
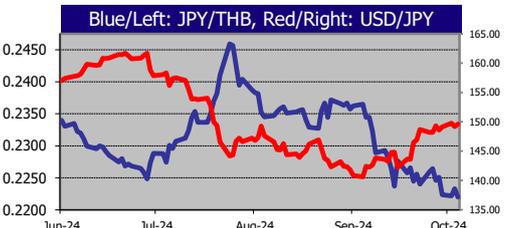
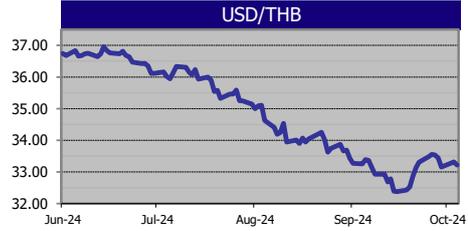
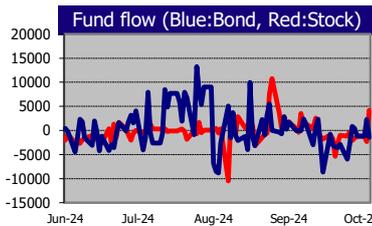
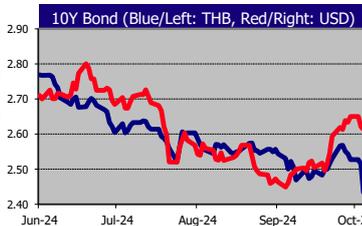
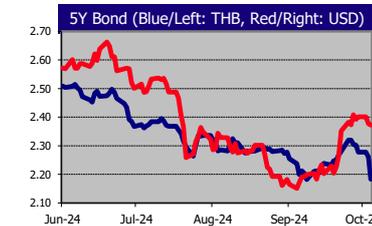
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,485.01	19.98
NIKKEI (JP)	39,180.30	-730.25
DOW (US)	43,077.70	337.28
S&P500 (US)	5,842.47	27.21
SHCOMP (CN)	3,202.95	1.66
DAX(GER)	19,432.81	-53.38

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	4,201	6556.6
Bond net flow	(1,439)	-3727.4

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

昨日のドルパーツはイベントを経て上下する展開。33パーツ台前半の水準で取引を開始。注目のタイ中銀(BOT)による金融政策委員会(MPC)は、大方の予想に反し、0.25%の利下げを決定。ドルパーツは33パーツ台半ばまで急上昇するも、その後は、先行きの金融政策について「(政策金利を)低水準にすることで長期的な金融不均衡を招くことのないよう、潜在成長率と整合的であるべき」との声明文に記される等、引き続き慎重な運営がなされることが示唆されたことを受けて、下落に転じ、33パーツ台前半まで戻す展開に。海外時間に入ると、低下していた米金利が戻す動き等を背景にドルパーツも反発の動きを見せるも、勢いは限定的となり、結局33.22レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

昨日のドル円は上昇。149円台前半の水準で取引を開始。安達日銀審議委員の「金融政策が正常化プロセスに入る条件はすでに満たしている」との発言に148円台後半まで急落する場面を見せるも、同水準では相応に買いも入り、早々に149円台に戻すと、以降は底堅く推移。海外時間は米金融機関の好決算を受けた米株高等を横目に一時149円台後半を付けた。ただ、上昇が一服すると、終盤にかけては小幅に反落。結局149.64レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

注目されたタイ中銀による金融政策決定会合の結果は、大方の事前予想を覆す25bpのサプライズ利下げとなった。コロナ禍後初となるこの利下げ決定の背景は、中銀の説明を要約するに家計債務の負担緩和を通じた景気への配慮がメインだったように見受けられたが、一方で先行きの政策については中立的な水準に維持すべきとの見方も示しており、引き続き慎重な運営を志向するスタンスも垣間見える内容となった。このタイミングとしたのは、政府や業界団体からの容赦ない利下げ圧力というのもゼロではなかったと感じるが、より後押ししたのは最近のパーツ相場の高止まりということだったのではないかと考える。昨日東南アジアではタイのほか、フィリピンとインドネシアでも中銀による決定会合が開催され、フィリピンは2会合連続の利下げ、インドネシアは据え置きという結果となった。フィリピンは予定通りの動きに見えたが、インドネシアの決定は、前回の会合で追加利下げに含みを持たせていただけに、この1か月で軌道修正を迫られた感は否めない。では最近何があったのかというと、米国の大幅利下げ観測後退を背景とした米ドル買い戻しの流れでルピア安が進んでしまったことではなからうか。アジアにおいては自国通貨の為替水準は中銀の政策決定に影響を及ぼさうということ改めて意識しておく必要があるかもしれない。(吉田)